

シムルニ至ルヤモ知レス此ノ點ニ付日本カ「ワシントン」ニ於テ米國海軍側ヲシテ相對的ニ艦型縮小ハ米國主力艦ノ威力ヲ減スルモノニ非サルコトヲ納得セシメハ頗ル有益ナリト論シ最後ニ「ワシントン」四國條約ニ類スル條約ヲ以テ不戰條約ニ追加スヘシトノ「ヒューズ」ノ「サゼッジョン」ニ言及シ「ロンドン」會議ヲ以テ斯カル條約締結ノ好機ナリト爲シ米國側ヨリノ此種條約締結ノ提議アルニ於テハ機宜ノ事業ヲ促進シ特ニ佛國全權ノ歡迎スル處ナルヘシト結ヒタリ

十二、十二月十七日「ワシントン」發「タイムズ」特電ハ若槻全權ノ聲明ニ關スル米國新聞ノ報道中或者ハ日本ハ補助艦勢力ノ總括的七割ヲ要求シ各艦種間ニ多少ノ融通性ヲ認メムトスルモノトナシ或者ハ日本ハ巡洋艦ニ付對米七割及潛水艦ニ付多大ノ勢力ヲ要求シ唯小型巡洋艦及驅逐艦保有量ノ低下ニ依リ融通スヘシト報セル旨ヲ述ヘ特ニ日本カ千九百二十二年ニ於テハ日本近海ニ於ケル防備ニ充分ナリシ五、五、三比率ヲ八年後ノ今日何故増加セサルヘカラサルヤニ付テハ何等質問モナク又若槻全權ヨリ説明モナカリシ旨ヲ報シ日本ハ潛水艦ニ付英米保有量ノ七割ヲ要求スヘク融通調節ノ餘地殆ントナシト報ス

附 錄

千九百三十年「ロンドン」海軍會議前記重要事項日誌

日 時	事 項	備 考
昭和二年（一九二七年） 六月 二十日	「ジュネーヴ」三國會議開會	第一章第一節第一項
八月 四 日	「ジュネーヴ」三國會議閉會	第一章第一節第一項
十二月 十四日	米國海軍建造法案下院ニ提出	第一章第一節第二項
昭和三年（一九二八年） 一月 十一日	下院海軍委員會ニ於テ「ウィルバー」海軍長官説明ス	第一章第一節第二項
二月 二十三日	海軍建造法修正案下院海軍委員會ヲ通過ス	第一章第一節第二項
二月 二十八日	主力艦問題及軍縮會議開催方ヲ軍縮準備委員會ニ提起方ニ關シ在京英國大使同國政府ノ意向ヲ通告シ來ル	第一章第三節第一項
三月 二 日	右ヲ取消シ之ニ代フルニ單ニ主力艦問題ヲ軍縮準備委員會ニ提起スルノ意向ナル旨ヲ通告シ來ル	第一章第三節第一項
三月 十七日	海軍建造法修正案下院ヲ通過シ即日上院ニ回附セラル	第一章第一節第五項
三月 二十日	第五回軍縮準備委員會席上英國代表主力艦問題ヲ提起ス	第一章第三節第一項
五月 三 日	海軍建造法修正案上院海軍委員會ヲ通過ス	第一章第一節第五項
五月 二十九日	上院閉會（海軍建造法案審議未了）	第一章第一節第五項

八月二日	英佛海軍妥協案ヲ帝國政府ニ通告シ來ル	第一章第二節第一項
八月二十七日	不戰條約締結セラル	第一章第四節
九月七日	英佛海軍妥協案ニ對シ日本回答ス	第一章第二節第二項
九月二十八日	英佛海軍妥協案ニ對シ米國回答ス	第一章第二節第二項
十月六日	英佛海軍妥協案ニ對シ伊國回答ス	第一章第二節第二項
十一月十一日	海軍建造法通過悠忽ニ關シ米國大統領演說ス	第一章第一節第六項
十一月十二日	米國海軍政策ニ關シ「ウィルバー」海軍長官聲明書ヲ發表ス	第一章第一節第六項
十二月四日	大統領第七十議會第二會期ニ送レル教書中重ネテ海軍建造法通過方ニ言及ス	第一章第一節第六項
昭和四年(一九一九年)		
二月五日	海軍建造法修正案上院ヲ通過シ下院ニ再回附セラル	第一章第一節第七項
二月七日	右法案無修正ニテ下院ヲ通過ス	第一章第一節第七項
二月十三日	海軍建造法大統領ノ裁可ヲ經公布セラル	第一章第一節第七項
二月十五日	英國政府ニ於テ軍縮會議開催ノ意アリト「ハワード」大使聲明ス	第一章第三節第二項
二月十六日	英國外務省右聲明ヲ否認ス	第一章第三節第二項
三月四日	「フリーヴァー」大統領就任シ就任演說中軍縮促進ヲ提議ス	第一章第五節第一項
四月二十二日	第六回軍縮準備委員會ニ於テ米國代表「ギブスン」米國ノ對軍縮一般政策ヲ聲明ス	第一章第五節第一項
五月十五日	「チエムバレン」松平會談(比率問題及我方トノ連絡方懸談)	第二章第三節第五項(註一)

五月二十日	英國總選舉施行セラル	第二章第一節第一項
五月三十日	「フリーヴァー」大統領「メモリアル、デー」ニ際シ軍備縮少ノ必要ヲ強調ス	第一章第五節第四項
五月三十一日	「スチムスン」國務長官右大統領演說ニ言及シ海軍費ニ關スル聲明書ヲ發表ス	第一章第五節第四項
六月八日	第二次英國勞働黨内閣成立ス	第二章第一節第一項
六月十一日	米國ノ對軍縮政策及比率問題ニ關スル「スチムスン」出淵會談	第二章第一節第二項
六月十四日	「ドーズ」新駐英米國大使倫敦ニ着任ス	第二章第一節第三項
六月十六日	「マクドナルド」及「ドーズ」「フォレス」ニ於テ海軍問題ニ關シ會談ス首相「コムミニク」發表セラル	第二章第一節第三項
六月十七日	右ニ關スル「ドーズ」松平會談	第二章第一節第三項
六月十八日	「ドーズ」大使「ビルグリムズ、クラブ」ニ於テ軍縮促進ニ關シ演說ス	第二章第一節第三項
六月十八日	「マクドナルド」首相「ロッシーマウス」ニ於テ同趣旨ノ演說ヲナス	第二章第一節第三項
六月二十四日	「ドーズ」松平會談(英米内交渉ニ日本參加方提議)	第二章第二節第一項
六月二十六日	「ドーズ」松平「ギブスン」會談(松平大使ニ於テ主動的地位ニ就カレンコトヲ「ドーズ」大使ヨリ提議)	第二章第二節第三項
六月二十七日	「ドーズ」松平會談(「マクドナルド」首相ノ關係國代表者相談會提議)	第二章第三節第一項
六月二十八日	右ニ關スル「スチムスン」出淵會談	第二章第三節第二項
六月二十九日	「ドーズ」松平會談(相談會議議題ニ關スル米國側意見提示)	第二章第三節第三項

六月二十九日	英米内交渉参加方及帝國政府ノ對軍縮一般方針ニ關スル訓令發電	第二章第四節
七月四日	「ドーズ」松平會談(比率問題ニ關スル一般的討議)	第二章第五節
七月五日	「マクドナルド」松平會談(相議會開催問題)	第二章第三節第五項
七月九日	濱口内閣政策聲明	第二章第八節第三項(註)
七月十一日	在京英國大使英國政府ノ訓令ニ依リ軍縮問題ニ關シ我國ノ協力希望ヲ申出ツ	第二章第三節第五項(註二)
七月十五日	「ドーズ」松平會談(軍縮商議ノ基礎ニ關スル英米交換文書内示)	第二章第八節第一項(一)
七月十八日	「スチムスン」出淵及出淵「キヤッスル」會談(我方トノ連絡方及軍縮商議ノ基礎ニ關スル英米意見交換)	第二章第八節第一項(二)
七月十九日	相議會議題案ニ對スル帝國政府訓令發電	第二章第六節
七月十九日	在京米國大使我方トノ連絡方ニ關シ申出ツ	第二章第八節第一項(註)
七月二十四日	「マクドナルド」首相下院ニ於テ造艦中止ヲ聲明ス	第二章第七節第一項
七月二十四日	「フリーグー」大統領同様ノ聲明ヲ爲ス	第二章第七節第二項
七月二十五日	出淵「キヤッスル」會談(造艦中止問題)	第二章第八節第一項(三)
七月二十五日	「ドーズ」松平會談(軍縮商議ノ基礎ニ關スル「マクドナルド」書翰及米國政府訓電内示及比率問題懇談)	第二章第八節第一項(四)
七月三十日	松平「クレイギー」會談(英國側ノ態度)	第二章第八節第二項(一)
七月三十一日	「ドーズ」松平會談(「マクドナルド」「ドーズ」間暫定協定案内話)	第二章第八節第二項(二)
八月一日	「ドーズ」松平會談(英米商議逆戻リ)	第二章第八節第二項(二)

八月二日	比率問題ニ付米國政府ニ懇談方出淵大使宛訓令發電	第二章第八節第一項(五)
八月七日	右ニ關スル出淵「キヤッスル」會談	第二章第八節第一項(五)
八月七日	出淵「キヤッスル」會談(米國側ノ態度)	第二章第八節第二項(三)
八月七日	比率問題ニ付「ギブスン」ニ懇談方佐藤局長宛訓令發電	第二章第八節第一項(六)
八月八日	「マクドナルド」「ドーズ」間暫定協定案ニ對スル帝國政府訓令發電	第二章第八節第三項
八月十二日	「ドーズ」松平會談(英米商議停頓後ノ情況及比率問題ニ關スル「ドーズ」大使内話)	第二章第八節第四項(一)
八月二十一日	英米商議ノ進捗ニ伴フ我要求ニ關スル帝國政府訓令發電	第二章第八節第五項(二)
八月二十四日	「ドーズ」松平會談(英米商議進捗振問合)	第二章第八節第四項(二)
八月二十六日	「スチムスン」出淵會談(英米商議ノ成行及比率問題懇談)	第二章第八節第四項(五)
八月二十七日	「マクドナルド」松平會談(比率問題ニ關スル懇談)	第二章第八節第四項(三)
八月二十八日	「ドーズ」松平會談(英米商議進捗ノ曙光)	第二章第八節第四項(四)
九月二日	「マクドナルド」松平會談(英米商議ノ成行及我比率要求ニ對スル英國側ノ難點)	第二章第八節第七項(二)
九月三日	聯盟總會ニ於ケル「マクドナルド」首相ノ軍縮演説及帝國全權ノ演説	第二章第八節第六項(一)及(三)
九月四日	「スチムスン」出淵會談(英米商議ニ關スル國務長官觀測)	第二章第八節第四項(五)
九月十二日	「ドーズ」松平會談(英米商議稍進捗)	第二章第八節第八項(一)
九月十三日	「ドーズ」松平會談(英米假協定案成立及其ノ内容内話)	第二章第八節第八項(一)
九月十三日	「ドーズ」松平會談(英米假協定案成立及其ノ内容内話)	第二章第八節第八項(二)

九月十四日	「スチムスン」出淵會談(英米假協定案)	第二章第八節第八項(三)
九月十五日	「ドーズ」松平會談(未決大巡三隻ノ問題)	第二章第八節第八項(四)
九月十六日	「ドーズ」松平會談(英米假協定成立經過、首相渡米問題及我方トノ豫備交渉問題)	第二章第八節第八項(五)
九月十六日	「マクドナルド」松平會談(英米假協定ノ成立軍縮會議招請及未決大巡三隻ノ問題)	第二章第八節第八項(六)
九月十六日	我比率要求ノ根據ニ關スル帝國政府訓令發電	第二章第八節第七項(三)
九月二十日	英米假協定及會議開會前豫備交渉ニ關スル帝國政府訓令發電	第二章第八節第九項(一)
九月二十四日	「スチムスン」出淵會談(右訓令執行)	第二章第八節第九項(四)
九月二十四日	「ドーズ」松平會談(招請狀、英米巡洋艦妥協點低下希望申入)	第二章第八節第八項(七)
九月二十五日	松平「リンゼー」會談(豫備交渉開始問題、招請狀、未決大巡三隻問題)	第二章第八節第九項(三)
九月二十八日	「マクドナルド」首相米國ニ向ケ出發	第二章第八節第十項(一)
十月五日	「フリーグラー」マクドナルド會談ノ機會ニ於テ英米ノ比率問題ニ對スル意向確カメ方ノ出淵大使宛訓令發電	第二章第八節第十項(二)
十月五日	「スチムスン」出淵會談(右訓令執行)	第二章第八節第十項(三)
十月七日	「ラビダン、キャンブ」ニ於ケル米大統領英首相會談開始	第二章第八節第十項(一)
十月七日	「ロンドン」海軍會議招請狀發送	第三章第一節
十月十日	招請狀受諾ノ米國政府回答發送	第三章第二節第一項
十月十一日	出淵「コットン」會談(「ラビダン」會談ノ内容探査)	第二章第八節第十項(四)

十月十六日	招請狀受諾ノ日本回答發送	第三章第二節第二項
十月十六日	招請狀受諾ノ佛國回答發送	第三章第二節第三項
十月十六日	招請狀受諾ノ伊國回答發送	第三章第二節第四項
十月十六日	「スチムスン」出淵會談(帝國全權米國經由方申出)	第四章第一節第一項(一)
十月十六日	「スチムスン」出淵會談(比率問題ニ關シ米國側意見表示方懸談)	第四章第一節第二項(二)
十月十八日	若槻、財部、松平三全權任命	
十月二十三日	「スチムスン」出淵會談(帝國全權米國經由方ニ關スル申出受諾)	第四章第一節第一項(二)
十月二十三日	「スチムスン」出淵會談(比率問題ニ關シ米國側意見表示方重ネテ懸談)	第四章第一節第二項(二)
十月三十一日	「スチムスン」出淵會談(比率問題ニ關シ米國側意見表示方督促)	第四章第一節第二項(三)
十一月十一日	「マクドナルド」松平會談(日英豫備交渉開始問題、英米妥協點低下問題及比率問題)	第四章第二節第一項(二)
十一月十一日	「フリーグラー」大統領休戰記念日軍縮演說	第四章第一節第二項(一)(註二)
十一月十二日	「スチムスン」出淵會談(國務長官ノ比率問題ニ關スル覺書提示及右ニ對スル出淵大使反駁)	第四章第一節第三項(一)(二)
十一月十三日	日英米豫備交渉開始方及我要求ニ對スル英國側ノ不安除去方ニ關スル松平大使宛訓令及出淵大使宛訓令發電	第四章第一節第四項及第四章第二節第二項
十一月十八日	「ドーズ」松平會談(比率問題ニ關スル米國政府ノ態度)	第四章第一節第六項
十一月十八日	出淵「ウイルスン」會談(比率問題ニ關スル一般的會談)	第四章第一節第五項

十一月十八日	「マクドナルド」松平會談(首相ノ隻數ニ依ル均衡論)	第四章第二節第三項
十一月二十七日	我要求ノ具體的試案ニ關スル帝國政府訓令發電	第四章第二節第四項(一)
十一月二十八日	比率問題ニ關スル國務長官覺書ニ對スル帝國政府訓令發電	第四章第一節第七項(一)
十一月二十九日	「ドーズ」松平會談(豫備交渉回避)	第四章第一節第八項
十一月二十九日	「マクドナルド」松平會談(我具體的試案提示)	第四章第二節第四項(二)
十一月三十日	若槻財部兩全權出發米國經由渡英	全權報告書第一編第三章第四節
十二月二日	「スチムスン」出淵會談(訓令執行)	第四章第一節第七項(二)
十二月六日	出淵「コットン」會談(「キッスル」大使特派ニ付同意ヲ求ム)	第四章第一節第九項(一)
十二月九日	「マクドナルド」松平會談(首相ノ隻數ニ依ル均衡論)	第四章第二節第五項
十二月九日	會議ノ目的及議題等ニ關スル英國政府覺書	全權報告書第二編第三章第二節(一)及第四章第一節
十二月十日	「キッスル」大使任命ニ帝國政府同意ヲ與フ	第四章第一節第九項(二)
十二月十一日	會議ノ議事方法、比率問題、主力艦問題輿論指導等ニ關スル帝國政府訓電	第四章第一節第十項(一)
十二月十二日	「シャトル」ニ於ケル若槻全權演說	全權報告書第一編第三章第四節(一)
十二月十四日	「スチムスン」出淵會談(右訓令執行)	第四章第一節第十項(二)
十二月十四日	會議ノ目的及議題等ニ關スル佛國政府回答	全權報告書第二編第三章第二節(二)及第四章第一節
十二月十四日	會議ノ目的及議題等ニ關スル伊國政府回答	全權報告書第二編第三章第二節(二)及第四章第一節

二七八

十二月十六日	會議ノ目的及議題等ニ關スル米國政府回答	全權報告書第二編第三章第二節(二)及第四章第一節
十二月十七日	日米全權會見(比率問題、其他)	全權報告書第一編第三章第四節(二)
十二月十八日	「フーヴァー」若槻會談(比率問題其他)	全權報告書第一編第三章第四節(三)
十二月十九日	日米全權會見(比率問題其他)	全權報告書第一編第三章第四節(二)
十二月十九日	「クレイギー」我方專門家會談(各艦種ニ關スル英國提案提示)	第四章第二節第七項(一)
十二月二十日	「マクドナルド」松平會談(我全權着倫後ノ交渉方法ニ關スル希望申出及主力艦問題意見交換)	第四章第二節第七項(二)
十二月二十日	會議ニ於テ討議サルヘキ問題ニ關スル佛國政府覺書	全權報告書第一編第二章(二)
十二月二十一日	出淵「キッスル」會談(巡洋艦、主力艦、潛水艦問題)	第四章第一節第十二項(一)
十二月二十一日	會議ノ目的及議題等ニ關スル帝國政府回答	全權報告書第二編第三章第二節(二)及第四章第一節
十二月二十七日	若槻財部全權一行「ロンドン」到着	全權報告書第三章第二節
十二月二十七日	永井全權任命	第四章第一節第十二項(二)
十二月三十一日	我八吋砲巡洋艦増勢ニ關スル帝國政府訓電	第四章第一節第十二項(二)
昭和五年(一九三〇年)	出淵「スチムスン」會談(我八吋砲巡洋艦増勢ニ關スル問題)	第四章第一節第十二項(二)
一月六日	日英專門家第一回會合(主力艦及航空母艦ニ關スル我方所見開陳)	全權報告書第十章第二節

二七九

一月七日	帝國全權英外相會談（會議ニ對スル帝國ノ態度、現實縮少要望、豫備交渉重視、七割要求根據開陳）	全權報告書第一編第三章第五節（一）
一月八日	帝國全權英海相會談（會議ニ對スル我方ノ態度、豫備交渉重視）	全權報告書第一編第三章第五節（一）
一月九日	「マクドナルド」帝國全權第一回會談（會議ニ對スル我方ノ態度、我原則的要求開陳及首相ノ均衡論）	全權報告書第一編第三章第五節（二）
一月十日	「マクドナルド」帝國全權第二回會談（比率問題ニ對スル英國側所見、右ニ對スル應答、首相ノ均衡論、英國假妥協案提示、主力艦問題）	全權報告書第一編第三章第五節（二）
一月十日	佛國覺書ニ對スル英國政府回答發送	全權報告書第一編第二章（二）
一月十三日	「マクドナルド」帝國全權第三回會談（英國假妥協案ニ對スル我方所見、主力艦及航空母艦問題、比率ニ關スル日英米三國關係ノ難點、驅逐艦及潛水艦問題）	全權報告書第一編第三章第五節（二）
一月十四日	若槻「ド、フルリオ」會談（制限方式問題等）	全權報告書第一編第五章第二節（五）
一月十六日	日英専門家第二回會合（大型巡洋艦比率問題討議）	全權報告書第一編第三章第五節（二）
一月十七日	會議ノ目的及議題ニ關スル英國政府修正覺書	全權報告第一編第三章第三節
一月二十一日	「ロンドン」海軍會議開會	

昭和五年六月

千九百三十年倫敦海軍條約說明書
千九百三十年倫敦海軍條約起草推移調書

極秘

外務省歐米局第二課